

# 西之表市

# 議会だより

No. 134



新たな一年が幕を開けました。  
本年も、豊かなまちづくりと明るい未来のために、議論を尽くしてまいります。  
西之表市議会議員一同

令和5年2月10日発行

\* 今後の予定 \*

『令和5年第1回臨時会』

2月21日(火)

『令和5年第1回定例会』

2月24日(金) 開会

## 目次

\* 令和4年第4回定例会 \*

P 2 … 定例会 注目トピックス3

▶ 再編交付金事業基金条例を可決

▶ まちづくり交流拠点施設の管理等に  
関する条例を否決

▶ 八板市長への問責決議を否決

P 4 … 委員会審査の報告

P 5 … 一般質問

P10 … 所管事務調査の報告

P12 … 議会報告会を実施しました

P14 … 議決結果の一覧

## 新年あけましておめでとーございませう



市民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、やはり、新型コロナウイルス感染症の拡大や、サツマイモ基腐病をはじめとした農業における被害に翻弄され、さらにはウクライナ情勢等による物価高騰が、市民生活・地域経済に大きな打撃を与えた年でありました。また、馬毛島を取り巻く様々な事項についても、動きは加速しています。本市議会は、本市のまちづくりの方向について、市当局がどのように舵取りを行うのかを注視し、市民の声を反映させながら議論を深めることの重要性を、改めて深く認識しております。さて、本年は2月中旬に市議会の委員会改選を予定しています。

令和3年の議員改選から2年が経過しようとする今、各委員会委員構成を変えることに伴い、議員一人一人がそれぞれの立場で研鑽を積み、その資質を一層高めることが求められます。

「各種課題の解決と豊かなまちづくりのために、何をすべきか。」私たち市議会は、さらに議論を尽くし行動する中で、引き続きその答えを導き出すべく努めてまいります。今後とも、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様にとってこの一年が、笑顔あふれる日々となりますよう祈念し、新年の挨拶いたします。

西之表市議会

議長

川村孝則



## 令和4年最後の定例会を開催しました。

会期は、11月29日から12月16日までの18日間。西之表市議会は、21議案を可決した一方、2議案を否決しました。特に、再編交付金やまちづくり交流拠点施設に関する条例の議案では、質疑や意見が飛び交い、議論が白熱する場面もありました。

また、今号では、11月15日に開催した議会報告会と、令和4年に行った各委員会の所管事務調査の内容も掲載。1年の「最後」の議会での審議の結果と併せて紹介します。

(各議案の議決結果は14ページに記載)

### 注目トピック / その1



### 再編交付金事業基金条例 委員会では否決も 最終本会議で可決



本市では、令和4年10月21日に、本年度の再編交付金として、7億7600万円超の額が、国から交付されることと決定しています。この交付金額を年度内に執行することは困難であり、翌年度以降に執行するため、基金を設置し適正に管理運用を行うよう、この条例案が市長から提案されました。

委員会の審査には、市長も出席。委員からの「この議案を上程することは、馬毛島での駐留米軍等の再編の円滑な実施に同意したと思わざるを得ない」という問いに対し、市長は「法令に基づき、適切な手続を取っている」と答弁しました。

また、この交付金による給食費の完全無償化の実施を計画していることから、「子育て世代

は喜んでいたので賛成」とする委員の意見も。

しかしその一方で、「この条例制定が、駐留米軍の再編受入れに繋がるため反対」との声が多く出され、委員会では、この条例案を「否決すべき」との結果となりました。

その後、本会議での議決前の討論では、賛否をめぐり多くの議員が登壇。議決結果は、賛成7名・反対6名で可決となりました。

併せて、本定例会では、この再編交付金を計上した一般会計補正予算（第7号）も上程。この補正予算についても、賛成多数で可決しています。

活発な議論と慎重な審査を

／ おこないました！ ／



## 注目トピック

その2

まちづくり  
交流拠点施設の  
管理等に関する  
条例を否決



旧榕城消防分団跡地に建設した「交流拠点施設」を、中心市街地と地域経済活性化に活用するため、管理方法などを規定した条例案が提出されました。付託を受けた産業厚生委員会の審査では、現地調査も実施。条例案には、使用時間や休館日、使用料などを規定しているとの説明を受けました。

しかし、「使用時間が午前9時から午後5時までであり、市民が使用しやすい規定になっていない」「幅広く市民と議論して、施設の運用を検討すべき」との多くの反対意見が出て否決に。

その後の本会議での議決結果も、賛成2名・反対11名で、この議案は否決となりました。

## 注目トピック

その3

八板市長への  
問責決議を否決



最終本会議で、議員発議により、八板俊輔西之表市長に対する問責決議についての議案が提出されました。

内容は、「馬毛島問題に関する市民への説明や対話が不足していること」「行政運営力が欠如していること」に対して抗議し、猛省を強く求めるもの。

問責決議が提出されるのは、9月議会に引き続き2度目。議決結果は、賛成6名・反対7名で否決となりました。

これも注目！ **ヤトピック**

最終本会議で追加上程された議員発議の意見書案が、賛成多数で可決されました。詳細は、以下のとおりです。



## インボイス制度の実施延期を求める意見書

\*内容は左のQRコードからご覧ください。

可決

どんな内容？	令和5年10月から導入予定のインボイス制度は、本市に多い「免税事業者」が課税事業者になることを迫られ、また、インボイスの発行・保存等にかかるコストなども負担となる。シルバー人材センターの会員についても、インボイスの発行ができないため、問題視されている。よって、インボイス制度の実施延期を、国に対し強く要望する。
誰に提出？	衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣

# 委員会の審査の報告

議案は、各委員会で慎重に審査された後、本会議で議決されます。

## 予算特別委員会

議長を除く全13名の議員で構成

\*委員長 長野広美

\*副委員長 竹下秀樹

### 一般会計補正予算

補正予算（第7号）では、歳入歳出の総額に、それぞれ9億4386万円を追加。

また、最終本会議では、歳入歳出の総額にそれぞれ1535万3千円を追加する補正予算（第8号）を可決。

これらにより、一般会計の歳入歳出予算の総額は、128億393万3千円となりました。

\*その他の予算の議決結果は14ページの「議案第63号～65号・第70号～第73号」をご覧ください。

### 主な歳入はコレ！

 <p>国庫補助金</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交付額の決定により再編交付金を計上 ▶ 7億7,680万7千円増額</li> <li>・ 国の「子育て世帯等臨時特別支援給付金」を計上（令和3年度事業分の追加交付）▶ 660万1千円増額</li> </ul>
--	---

### 主な歳出はコレ！

<p>財産管理費</p>	<p>西之表市再編交付金事業基金に積立。 令和5年度からの「西之表市学校給食事業」に充当予定 ▶ 7億7,680万7千円を追加計上…基金管理事務</p>
<p>予防接種費</p>	<p>接種対象者の拡大（生後6カ月～4歳）とオミクロン株対応型ワクチンの接種を開始 ▶ 4,044万円を追加計上…ワクチン接種緊急促進事業</p> 
<p>し尿処理場費</p>	<p>電気料金の値上げにより光熱水費を増額 ▶ 275万円を追加計上…西京苑管理事業</p> <p> し尿処理場の電気料金は、昨年度と比較して10%増額し、1カ月あたり200万円となっています。なお、図書館費や開発総合センター管理費でも、電気料金の値上げに伴う増額補正がなされました。</p> 

## 総務文教委員会

委員長 竹下秀樹

副委員長 宇野裕未

委員 鮫島市憲・橋口美幸

川村孝則・濱島明人

橋口好文

西之表市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方公務員法の改正をこまめ、職員の定年年齢が60歳から65歳となりました。この引上げは、令和13年3月末までに段階的に行われます。また、管理監督職（課長の職）の上限を60歳と定め、60歳到達日以後の働き方として、希望によって短時間勤務が可能になるよう制度化も。

委員会では、60歳到達日以降の処遇や、職員数全体での管理職の人数のバランス等への質疑がなされました。なお、定年年齢の引上げに伴い、職員の勤務

時間や服務等の関係する条例の改正は、3月議会で提案がなされるとの説明を受けています。

地方公務員法の改正には、給与と年金（65歳から受給開始）との接続が求められていたことや、定年年齢からの多様な働き方へのニーズに対応することが背景にあります。



▼他にも… 議案第55号～57号・66号・67号を審査しました！

（14ページに記載）

## 産業厚生委員会

委員長 渡辺道大

副委員長 杉為昭

委員 長野広美・河本幸男

下川和博・田添辰郎

遠藤建次郎

安心・安全な市街地確保への対応を求める請願書

西之表市商工会会長他2名から、濱島明人議員を紹介議員として提出された請願書。

内容は「自衛隊馬毛島基地建設に伴う工事関係者により、一時的に人口が増加しており、今後のトラブル発生への備えや、来島者が満足できる市街地とするため、市街地等への防犯カメラの設置や街灯増設への支援等を求める」もの。

委員会では、安心・安全な市街地確保への対応は求めるものの、請願の趣旨にある「支援の財源に米軍再編交付金の利用」を求めることに対しては、財源確保は行政の裁量であることを勘案。よって、委員会では全会一致で趣旨採択すべきとの結果になりました。

\*本会議での議決結果も、趣旨採択となりました。

▼他にも…

議案第58号～61号を審査しました！（14ページに記載）

## 市政を問う

### 一般質問



9名の議員が、一般質問を行いました。

\*顔写真の下のQRコードから、動画（Youtube）を視聴できます。

▼質問順と掲載ページはこちら←

- 1 遠藤建次郎 議員・P5
- 2 橋口好文 議員・P6
- 3 宇野裕未 議員・P6
- 4 渡辺道大 議員・P7
- 5 橋口美幸 議員・P7
- 6 長野広美 議員・P8
- 7 濱島明人 議員・P9
- 8 田添辰郎 議員・P9
- 9 杉為昭 議員・P10

### 市内宿泊施設の現状について



遠藤建次郎 議員



【問】来島者の状況はどうか。

【答】9月末で10万6619人で、前年比で2万8926人増加している。（経済観光課）

【問】工事関係者の割合は。

【答】宿泊施設関係者によると、4割程度。宿泊施設によっては7割程度と聞く。（経済観光課）

【問】防犯カメラの設置について、どう考えるか。

【答】明るい安心なまちづくりに向け検討する。（経済観光課）

【答】 増設等の要望をこまめ、より良い方向で検討している。(市長)

### 農業について

【問】 ハウス資材補助の助成率の引上げの予定はないか。

【答】 補助限度額の見直し等を含め、検討を進める。(市長)

【問】 分解性マルチ助成制度の来年度の取組は。

【答】 来年度も継続した支援を考える。(農林水産課)

### 馬毛島問題について

【問】 基地関連の交付金の利活用について、旧榕城中跡地への図書館や児童クラブ等を含めた複合施設の建設はどうか。

【答】 庁内で検討しているが、防衛省との協議が必要。長期的な視点で考える。(企画課)

【問】 市長の基地に関する考え方について、説明を求める。

【答】 優先すべき使命は、市民の安心・安全の確保と不安解消に尽くすこと、期待の声に応える最大限の努力を注ぐことだと考える。(市長)

### ▼これも質問しました!

「新型コロナウイルス感染症について」



橋口好文 議員



### 農業振興について

【問】 農業用生産資材費高騰と農産物の価格転嫁ができない現

状を、どう考えているか。

【答】 新型コロナウイルスによる影響や国際情勢の変化等、例えば世界的な穀物需要の増加、ロシアによるウクライナ侵攻、円安により農業用生産資材が高騰する中、市場を通じて取引される農産物は、原則として需要と供給に応じて価格が決まるため、価格転嫁は難しい課題であると認識している。

こうした中での農業経営は、非常に厳しい状況に置かれていることから、本市としても9月議会で、国の財源を活用した耕種農家への補助事業予算を計上し、早期支援に取り組んだところである。

農業経営の持続性を確保するためには、今後、流通業者や消費者も含めて、生産物の適正な価格転嫁に対する理解の醸成も必要だと考えている。(市長)

### ▼これも質問しました!

「ふるさと納税について」「建設行政について」「都市公園とあっぱらんの管理について」「学校給食について」



宇野裕未 議員



### 馬毛島問題について

【問】 騒音被害の影響について、視察した新富町では、補償対象地域とそうでない地域が線引きされていた。本市で同様の線引きがされた場合の対応策は。

【答】 本市には、住宅防音工事の対象となる地域はないとの説明を受けている。(企画課)

【問】 新富町は独自の財源で、騒音調査を実施していた。本市

でも実施する際、財源はあるか。

【答】騒音に限らず、市民の安心安全のために必要なことは、財源を問わず取り組む必要があると考える。(企画課)

### 物価高による子どもの教育環境への影響について

【問】本市に多い「多子家庭」に対する独自支援の検討は。

【答】現時点で検討していないが、どのような支援ができるか、他市の状況も含め研究する必要があると考える。

(教育委員会総務課)

【問】制服や学用品の購入など、金銭的・心理的負担が少なくなる仕組みを検討されないか。

【答】留学生を対象に実施している「卒業生の保護者からの学

用品等の提供」の仕組みを、他家庭でも運用できないか、校長会でも取り上げたい。(学校教育課)



### ▼これも質問しました!

「基地問題に関する市長の方針と米軍再編交付金について」「馬毛島の市史編さん関連調査について」「自衛隊馬毛島基地(仮称)関連工事の影響について」



渡辺道大 議員



市道の側溝整備・歩道設置・拡幅工事を求める請願書について

【問】中西地域から、市道宮原美浜線の側溝整備の要望が出ているが、どのような計画か。

【答】現在、令和6年度に整備

実施の計画としているが、他路線も同様の要望が出ているため、緊急的に整備が必要な箇所があれば、整備の計画がずれ込む可能性がある。(建設課)

【問】市道古園桜が丘線の歩道設置の要望があるが、どのような計画か。

【答】用地買収などが必要なため、交付金等を活用し計画しているが、現時点で整備の時期は決まっていない。(建設課)

【問】本城一号線の拡幅工事の要望があるが、どのような計画か。

【答】財政計画との整合性を図り、用地調査後の結果での判断が必要。調査は、浅川城線の用地調査完了後となる。(建設課)

【問】各地域からのこれらの側

溝整備・歩道設置・道路拡幅工事の要望を、議会では全会一致で採択している。市長の考えは。

【答】市道の改善すべきところは多くある。その中で、地元の要望が強いところは、優先順位を高める要素となるので検討したい。(市長)

### ▼これも質問しました!

「高速船料金と運航状況について」「馬毛島問題について」



橋口美幸 議員



馬毛島問題について

【問】2022年1月7日の「2+2」で候補地から整備地へと明記されたことで、市長は翌月3日に防衛省へ「特段の配慮」

をお願いし、その後交付金の交付が決定。市長はこれを受け取る姿勢だが、今の考えは。

【答】再編交付金は、法令に基づいて判断し、市長として対応している。(市長)

【問】再編交付金は、基地による被害を被る迷惑料ではないか。

【答】解釈は色々ある。(市長)

【問】住民説明会(11月19日・20日開催)での騒音被害に関する説明は、防衛省の代弁者のように聞こえたが、その認識は。

【答】騒音への住民の不安を解消すべく、防衛省に対応等を求めていく。(市長)

【問】住民説明会では、FCL P訓練の飛行回数説明も行われたが、市長の夜間の時間帯の認識は。

【答】環境影響評価の手続における夜間とは、午後10時から翌日午前7時を指す。(市長)

【問】日米地位協定は、日米安全保障条約第6条の「米国は陸海空軍が日本国内の施設・区域を使用することを許される」という規定に基づき、米軍の特権を示す28条から成る。日本全土で基地の使用ができ、旅券がなくても出入国が可能であるなどこの協定の内容を、改善する必要があると考える。

▼これも質問しました！  
「種子島の森林を活用したエネルギー問題について」「会計年度任用職員制度について」「まちづくり公社について」



長野広美 議員



### プレミアム付商品券について

【問】プレミアム付商品券は、18歳以上の1万2500人の購入を想定し予算化していた。他市では、生活支援のための給付事業としての取組も。本市では購入できなかった市民が多いが、問題があるのでは。

【答】実際の購入者数は6900人。当初2セット購入を上限としたが、第2弾販売では8セットに。商店街活性化が目的であり、商工会に販売等を委託しているが、今後は市の取組を含め検討する。(経済観光課)

### 市営住宅の管理の在り方について

し、居住環境の適正管理が危惧される。中程度の修繕を計画し対応すべきではないか。

【答】事故があった手すり等は修繕を計画している。今後は事故等の未然防止のため、予防的視野も取り入れた予算への取組も進めて実施したい。(建設課)

### 馬毛島問題について

【問】市長は、馬毛島の市有地売却は行政手続とし、米軍再編交付金の受取は法に従うと発言しているが、これでは説明責任を果たしていない。

【答】市有地売却は、求められる手続に適切に対応する考えで応じ、交付金は、法の趣旨を考慮して手続を進めている。(市長)

▼これも質問しました！  
「情報管理の業務について」「西之表市ホームページについて」



濱島明人 議員



新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金について

【問】 標記の交付金の ①医療提供体制の整備 ②感染拡大の防止 ③地域経済の維持 ④住民生活の維持支援の4目的への配分は。

【答】 ①4095万円(3%)  
②4億963万円(38%) ③5億2976万円(50%) ④1億726万円(9%)である。  
※○は全体に占める割合(企画課)

【問】 ①医療提供体制の整備への配分が少ないのはなぜか。

【答】 目的別決定ではなく、その時々的情勢に応じて、庁内会議で決定している。(企画課)

【問】 公立病院に比べ、民間病院への交付金の配分は制度上難しいのか。

【答】 そのようなことはない。(企画課)

再編交付金について

【問】 再編交付金の使い道は教育関連なのか。具体的な内容は。

【答】 学校給食費の無償化に充てる。保護者の負担軽減と、子どもを産み育てやすいまちづくりを推進し、給食の充実と子ども自身の健全な発達に寄与するため基金を造成する。(市長)

【問】 教育関連であれば、通学路の道路整備には使えないか。

【答】 令和4年度は使途が決定したため、別途検討が必要。(企画課)

就農支援と人手不足解消について

【問】 市の農業における人手不足解消の取組は。

【答】 農業次世代人材投資資金等による新規就農者の確保・育成と、援農隊による高齢農家への労力補完を実施。(農林水産課)



▼ これも質問しました!

「旧榕城消防分団跡地のワーケーション・交流施設について」「市民団体と八板市長との政策協定破棄について」



田添辰郎 議員



「還暦の集い」について

【問】 ふるさと納税や本市出身

者の交流を考えれば、市として「還暦の集い」のような催しを積極的に協力し、推進すべきと思う。10月10日前後や、台風が来ない時期・観光客が集中しない時期に、60歳の還暦を迎えた仲間が集う場所を作っていたら、広報していただければと考えるがどうか。

【答】 出郷者とのネットワーク形成の受皿である「種子島ふるさと応援隊」の予算で、還暦などの節目で実施されている同窓会時の飲み物の一部支援を実施し、その取組を広報紙で紹介。過去の実績も踏まえ、還暦を迎えられる方に対する情報収集・情報提供など、提案に対してさらに推進が図られるよう検討する。(地域支援課)

【答】 還暦の集いや、島外からお帰りになっている方々の集まりについては、現在も対応して

いる。情報があれば、市にお伝えいただきたい。(市長)

▼ これも質問しました!

「西之表市公共施設等総合管理計画について」「馬毛島の交付金の活用方法について」「再生エネルギーについて」「介護の在り方について」



杉為昭 議員



### 高速船運賃について

【問】 鹿児島島の医療機関へ通われる市民の高速船運賃が大きな負担となっているが、支援は。

【答】 制度の見直しを含め、関係各所に機会を捉えて要望している。また、良い方向になる気配も感じている。(市長・企画課)

あかおぎ牛導入支援事業について

【問】 標記の事業が順調に行われていない原因とは。

【答】 新たな貸付牛を希望頭数まで確保するには長い日数を要していた。新制度の規定でも、限られた頭数から競り落とすことが困難な状態。(農林水産課)

### 西之表市畜産センターについて

【問】 市畜産センター出入口の急な勾配への対策は。

【答】 測量を行い、どう改善できるか検討する。(農林水産課)

### 馬毛島問題について

【問】 市内で既に多くの馬毛島関連工事に伴う事務所や関係者の姿が見受けられるが、行政は把握できているのか。

【答】 防衛省へ、工事関係者の

入島の推移を示すよう要望し、工事の進捗に応じて可能な範囲で説明をいただく予定。(企画課)

### 米軍再編交付金の使途について

【問】 市長は再編交付金を活用し、どのような西之表市の未来像を描いているのか。

【答】 人口減少と少子高齢化への対策を講じつつ、市民の幸福感を高めていく。(市長)



産業厚生委員会と馬毛島対策特別委員会では、それぞれが所管する事項の調査のため、島外での視察を行いました。現地へ赴き、委員が調査した主な内容を報告します。

## 産業厚生委員会

### 視察・訪問① 大和フロンティア株式会社 (令和4年10月5日実施・宮崎県都城市)

竹の飼料・肥料化に取り組む「笹サイレージ」の活用を調査。同社では、地域未利用資源の竹を独自の特許技術で生産方法や体制を確立し、低価格化を実現。牛や豚への飼料供給が注目されています。有機肥料としての活用の実績もあり、笹サイレージが基腐病発生への抑制効果があることも確認しています。

### 視察・訪問② 第12回全国和牛能力共進会 (令和4年10月6日実施・鹿児島県霧島市)

全国の優秀な和牛を一同に集めて、改良の成果を競う共進会の「種牛の部」を視察。9部門中6部門で鹿児島県が一位を獲得しました。この機会に、鹿児島県産牛のさらなる販路開拓や輸出拡大に努めていくことが示されました。

### 視察・訪問③ 株式会社くしまアオイファーム（令和4年10月6日実施・宮崎県串間市）

さつまいもの生産・加工・販売を一貫して行う6次産業化を調査。同社では、さつまいもの栽培で、徹底した減農薬に取り組んでいます。加工では、青果用さつまいもを使って製造した焼酎など、積極的に商品開発を実施。また、「おやついも」の販売や、海外輸出も行っており、取組を拡大しています。

## 馬毛島対策特別委員会

### 視察・訪問① 航空自衛隊新田原基地（令和4年11月11日実施・宮崎県新富町 ※以下②・③も同様）

新田原基地司令の説明を受けました。

- ・近隣市町村の首長と良好な関係を築き、台風等災害時に情報共有するなど協力・連携している。
- ・F35B戦闘機が、令和6年度から同基地に数基ずつ配備され、訓練は馬毛島で行う予定。夜間訓練は月曜日と火曜日で、夏季は21時まで、冬季は20時まで実施。スクランブルや災害対応は、それ以降の時間帯も実施することがある。

その後、管制塔展望所からF15戦闘機とF18戦闘機の離着陸訓練を見学。基地から約10km離れた萩の台公園で、戦闘機の騒音状況も体感しました。

### 視察・訪問② 新富町基地対策課

住民と基地に係る問題や現状、基地関係国庫支出金などの活用状況について説明を受けました。

過去3年の7種類の基地関係国庫支出金の合計		主な活用▶学校や病院の防音工事、交流センター「きらり」の建設、水道施設整備、消防団機械倉庫兼津波避難タワー整備、雨天時も使用できるテニスコートの整備、災害時の避難場所となっている地区集会所への太陽光システムと電気料金の補填
令和元年度	14億4,200万円	
令和2年度	15億9,764万円	
令和3年度	17億1,618万円	

#### 再編交付金・調整交付金を活用した基金

すこやか安心基金	高校生までの医療費一部助成や保育料の負担軽減
新富町小中学校教育情報化整備基金	町内小中学校のパソコン・インターネット環境整備等
新富町はつらつ健康基金	65歳以上や特定年齢者を対象に、がん検診の助成
町道維持管理基金	町道の維持管理
コミュニティバス運営基金	町内の公共交通空白地域の解消

新富町では独自の騒音・目視調査を行っています。騒音調査は町内5か所で実施。目視調査は、基地南側南門からフェンス沿いに西へ500mの地点で、職員4名体制で実施。戦闘機の離発着回数や時刻、騒音値、タッチ&ゴー回数及び飛行ルート等を調査します。（雨天時を除く午前7時から午後9時まで）

#### 過去3年間の目視調査による飛行回数

令和元年度	29,460回
令和2年度	26,599回
令和3年度	30,334回

#### 新富町への騒音苦情件数

令和2年度	6件	令和3年度	13件
-------	----	-------	-----

### 視察・訪問③ 新富町議会基地対策特別委員会

本委員会からの質問に対し、回答をいただきました。主な内容は、以下のとおりです。

Q. 騒音に対する町民の反応や対策は。

A. 新富町で生まれ育った住民は、騒音に慣れている。小中学校は防音対策がされ、冷暖房も完備。

Q. 移住者やリターン者の騒音への反応は。

A. 騒音を嫌がる方もいる。

Q. F35B戦闘機が同基地へ配備されることへの住民の反応は。

A. 住民の反対運動などはない。住民のほとんどはまだ実感として知らないのではないか。

質疑応答の他に、意見交換も行いました。

・西之表市も基地問題に対応する基地対策課を設置したほうが良い。

・新富町長は九州防衛局や防衛省へ頻繁に要望活動や交渉を実施。同委員会も新たな問題に対しては対策の要望活動などを行っている。

# 議 会 報 告 会 を 実 施 し ま し た。

令和4年11月15日に議会報告会を実施しました。

当日は、市民会館で開催し、38名の市民の皆さまに

ご参加いただきました。

今回は、市民の関心が高いと思われる事項に絞って、

議会での議論や関係機関へ要望した内容を報告。

ここでは、報告会でお伝えした主な内容を紹介します。

\*議会報告会は、西之表市議会YouTubeで

録画配信をしています。下のQRコード

からご覧ください。



## 市民の皆さまからいただいたご意見

(報告会後のアンケートから一部抜粋)

- ・市民の声を聴く時間を増やしてほしい。
- ・若い人の意見を聞きたかったが、参加が少なかった。
- ・参加者の少なさに驚いた。
- ・馬毛島賛成議員への質問が集中していたが、その他の議員の意見も聴きたかった。
- ・1時間半では短い。もう少し時間がほしい。
- ・報告会は各校区内で実施してほしい。
- ・質疑時間を延長して、もっと詳しく聴きたかった。

## 新型コロナウイルス感染症・サツマイモ基腐病・農業用資材高騰について

令和3年3月23日に、産業厚生委員会から市長へ次の事項を求めて、要請書を提出しました。

### 》要請事項

- ①アミスター20フロアブルを購入するための経済支援を早急に行うこと。
- ②農薬の使用方法や栽培管理などの説明会を開催すること。



令和4年10月4日に開催された種子島屋久島議員大会で、次の事項を国へ要望するよう提案しました。

### 》要望事項

#### ■ 農業の振興対策について（種子島屋久島1市3町議会の共同提案）

- ①甘味資源作物及びでん粉原料用いもについて、現行の糖価調整制度を堅持し、各地域での生産費など実状に応じた交付金水準を確保するために必要な予算措置を。
- ②サツマイモ基腐病の予防・防除効果の高い農薬の開発などとともに、生産農家への継続的な支援などを実施
- ③燃油や肥料・飼料価格等の高騰対策など、農家負担の軽減に必要な対策を。

#### ■ 離島の医療従事者の確保について（本市議会提案）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、離島の医療体制に大きな打撃を与え、看護師不足に拍車をかけたことを踏まえ、次の事項を要望するよう提案しました。

- ①医療従事者の更なる処遇改善や業務負担軽減策の実施
- ②医療従事者の養成・確保に向けた取組の強化
- ③医療等有資格者に対する離島への移住・定住に係る支援策を。



馬毛島対策特別委員会の活動・馬毛島関連議案の議決結果など

令和3年

6月21日 馬毛島対策特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西之表市商工会会長から提出された「国に対し本市に自衛隊官舎の設置等を要望する事を求める請願書」を採択</li> <li>・「馬毛島への自衛隊施設整備・運用を早期に求める意見書」を提出</li> <li>・「馬毛島へのいかなる軍事施設整備に反対する意見書」を提出</li> </ul>
6月23日 最終本会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「馬毛島における自衛隊施設の建設及び運用にかかる意見書」可決</li> <li>・「馬毛島への自衛隊施設整備・運用を早期に求める意見書」可決</li> <li>・「馬毛島へのいかなる軍事施設整備に反対する意見書」否決</li> </ul>
9月22日 馬毛島対策特別委員会	西之表市と馬毛島の未来創造推進協議会会長から提出された「防衛省が自衛隊馬毛島基地（仮称）建設に伴う各種計画説明を西之表市議会に行うことを求める請願書」を採択
9月28日 最終本会議	「防衛省に自衛隊馬毛島基地（仮称）建設に伴う各種計画説明を求める意見書」可決
12月20日 馬毛島対策特別委員会	防衛省による西之表市議会に対する説明会を実施。 防衛省からは、「自衛隊馬毛島基地（仮称）の具体的配置案」「中種子町・南種子町への関連施設の整備」「浜津脇港を自衛隊員の通勤港として活用」「基地整備では自然に配慮して設計」「航空機騒音の影響は、現段階で環境基準を超える区域は種子島にない」「自衛隊官舎の場所・戸数・各種交付金・補助金の金額は未定」などの説明を受けた。

令和4年

5月12日 馬毛島対策特別委員会	<p>市長・副市長・企画課から、西之表市と防衛省との協議の場の内容説明。また、市長・副市長・企画課・建設課・農林水産課から、葉山漁港浚渫工事への同意について、説明を受けた。</p> <p>市長は「漁港管理者として、漁業者の安全確保のために同意した。基地工事とは分けて判断した」と説明した。</p>
7月20日 馬毛島対策特別委員会	防衛省から、種子島1市2町の自衛隊員官舎の候補地と隊員数の振分けについて説明を受けた。
7月21日 馬毛島対策特別委員会	市長・副市長・企画課から、防衛省へ提出する「自衛隊馬毛島基地（仮称）設置に伴う市民の不安や期待に関する確認事項」21項目の説明を受けた。
9月28日 馬毛島対策特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民から提出された「馬毛島基地（仮称）に空自救難隊の配置を求める請願書」を採択</li> <li>・市民から提出された「安心できる暮らしのために真夜中のデモフライト実施を防衛省に求める請願書」を不採択</li> </ul>
9月30日 最終本会議	「自衛隊馬毛島基地（仮称）に空自救難隊の配置を求める意見書」可決
11月11日 馬毛島対策特別委員会	航空自衛隊新田原基地と新田原基地のある宮崎県新富町役場（基地対策課）・町議会を行政視察

令和4年第3回市議会定例会の最終本会議（9月30日）で可決した以下の3議案は、各委員会での審査を経て、議決しています。

- ・議案第48号 財産の処分について（川迎旧たばこ育苗ハウスの処分）…総務文教委員会で審査
- ・議案第49号 財産の処分について（旧馬毛島小中学校跡地の処分）…総務文教委員会で審査
- ・議案第50号 西之表市道路線の廃止について（馬毛島の市道3路線の廃止）…産業厚生委員会で審査

# 議 決 結 果 の 一 覧

全会一致で議決！		議決結果
議案 55	西之表市議会議員及び西之表市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案 59	西之表市公共採草地の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決
議案 60	公の施設の指定管理者の指定について（対象施設：西之表市老人福祉センター）	可 決
議案 61	公の施設の指定管理者の指定について（対象施設：西之表市自給飼料供給センター）	可 決
議案 63	令和4年度西之表市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
議案 64	令和4年度西之表市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
議案 65	令和4年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
議案 67	西之表市職員の給与に関する条例及び西之表市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案 68	西之表市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議案 70	令和4年度西之表市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可 決
議案 71	令和4年度西之表市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可 決
議案 72	令和4年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第4号）	可 決
議案 73	令和4年度西之表市水道事業会計補正予算（第3号）	可 決
議案 74	西之表市議会の個人情報保護に関する条例の制定について	可 決
議案 75	西之表市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可 決
報告 15	令和3年度種子島中央青果株式会社経営状況報告について	（報告のみ）
請願 11	安心・安全な市街地確保への対応を求める請願書	趣旨採択

<b>賛否が分かれた！</b> ○は賛成、●は反対。  ※ 川村孝則議員は、議長職のため表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。		議 員 名											議決結果			
		長野	鮫島	橋口	渡辺	宇野	杉	河本	濱島	下川	遠藤	竹下		田添	橋口	川村
		広美	市憲	美幸	道大	裕未	為昭	幸男	明人	和博	建次郎	秀樹	辰郎	好文	孝則	
議案 56	西之表市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案 57	西之表市再編交付金事業基金条例の制定について	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案 58	西之表市まちなか交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	-	否決
議案 62	令和4年度西之表市一般会計補正予算（第7号）	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案 66	西之表市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案 69	令和4年度西之表市一般会計補正予算（第8号）	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案 76	インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	-	可決
議案 77	八板俊輔西之表市長に対する問責決議について	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	-	否決

## 編集後記

お正月気分が少し残る1月中旬に、市議会議員向けの研修会が久しぶりに開催されました。研修テーマは「コロナショック後に地域をどう活性化していくかについて」。日本全体で人口が急速に減少していく中で、女性の労働力にもっと注目しようという内容。女性が会社で活躍すると、労働生産性が改善され売上も増え、結果企業の利益が増える。ひいては、日本だけではなく、世界経済が活性化すると試算されているそうです。新年早々に元氣が出るお話。

そこで、県内の女性議員の割合を調べてみると、西之表市議会は21%を占め、枕崎市と共に現時点では県内2位。女性の声や若い世代の声など多様な市民の声を反映させて西之表市全体が活性化するという、有意義な研修でした。（広美）